

臨床研究「左心耳の形態と機能の関連」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

①研究の意義・目的・方法

心房細動は加齢とともに発症しやすくなる不整脈疾患であり、近年の高齢社会において、その頻度は益々増加しております。心房細動は脳梗塞や心不全増悪の危険因子でもあります。脳梗塞の原因となる血栓は心臓の左心耳にできることが多く、その左心耳の形態や機能によって血栓ができやすい方とできにくい方があると言われています。

経食道心エコー図法では、左心耳の中の血流の早さや、壁の動きを測定することが可能です。また3D経食道心エコー図法では、左心耳の画像を任意の断面で切ることができ、2D心エコー図法では分からなかった左心耳の形態を評価することができます。CTにおいても3D構築することで、左心耳の形態をより詳しく評価することができます。

左心耳の機能と形態の関連について検討することで、左心耳血栓ができやすい因子を予測できる可能性があります。それにより、患者さまの適切な治療方法の選択に貢献できる可能性が考えられます。

②研究対象

2016年1月1日から2019年3月31日までに当院で経食道心エコー図検査と造影CTを受けられた患者さま

③研究期間

倫理審査委員会承認後～2019年12月31日

④資料・情報の項目

検査データ(心電図、経胸壁および経食道心エコー検査、CT検査、血液検査)
診療録

⑤資料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 循環器内科 助教 町野智子

⑥研究機関名・研究者名

筑波大学附属病院 循環器内科（家田真樹，瀬尾由広，石津智子，町野智子，山本昌良，佐藤希美，中澤直美）

⑦保有する個人情報に関する利用目的

この研究は、筑波大学附属病院において経食道心エコー図検査と造影CTを施行された患者さんを対象に、診療及び検査記録を用いて上記の課題について調査するものです。本研究の結果は学術目的のために学会や論文で公表されることがありますが、その場合も個人情報の秘密は厳重に守られ、第三者には個人の特定ができないように配慮されます。

⑧保有する個人情報の開示手続

あなたのデータが本研究に用いられているかどうかを知りたい場合や、用いられている場合において、あなたがデータ使用の取り止めを希望される場合には、いつでも下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、あなたのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。研究終了後10年間保管の後にデータは廃棄されます。

⑨問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 循環器内科（助教 町野智子，クリニカルアシスタント 中澤直美）

電話・FAX：029-853-3143（循環器内科医局，平日9時～17時），029-853-3525（筑波大学附属病院防災センター，上記以外の時間帯，担当医師または循環器内科医師を呼び出して下さい）